

WAMは福祉と医療の民間活動を応援します

令和3年1月13日  
 独立行政法人福祉医療機構  
 経営サポートセンター長 佐藤 肇  
 経営サポートセンター リサーチグループ  
 グループリーダー 石塚 敬之  
 担当 佐野 (電話) 03-3438-9932  
 (FAX) 03-3438-0371

## 2019年度（令和元年度）決算 病院（一般・療養型・精神科） の経営分析参考指標の概要について

独立行政法人福祉医療機構では、福祉医療貸付事業の債権管理の一環として、毎年度、融資先からご提出いただく財務諸表等を基に、社会福祉法人や医療法人、福祉・医療施設等の経営状況について経営分析参考指標として集計・分析しています。

このたびは、2019年度の病院（一般・療養型・精神科）の経営分析参考指標の概要について、公表いたします。

〈経営分析参考指標〉 <https://www.wam.go.jp/hp/guide-keiei-keieiga-tabid-1976/>

### 1. 調査の概要

<b>■調査時点</b>	毎年1回（決算データ）
<b>■集計施設</b>	一般病院(702施設) <sup>※1</sup> 、療養型病院(375施設) <sup>※2</sup> 、精神科病院(230施設) <sup>※3</sup>
	<small>※1 全病床に占める一般病床の割合が50%超の病院                  ※2 全病床に占める療養病床の割合が50%超の病院                  ※3 全病床に占める精神病床の割合が80%以上の病院</small>
<b>■調査目的</b>	機構融資先の債権管理の一環

※経営分析参考指標（2019年度決算分）（有料）の販売については、現在予約申込受付中です。

### 2. 2019年度決算の概要

- 医業収益対医業利益率は、一般病院は1.2%で前年度比0.6ポイント低下、療養型病院は5.7%で前年度比0.5ポイント上昇、精神科病院は1.7%で前年度比1.2ポイント低下となった。
- 利用率は、一般病院は82.9%で前年度比0.5ポイント上昇、療養型病院は90.5%で前年度比1.1ポイント上昇、精神科病院は89.4%で前年度比0.6ポイント低下となった。
- 在院日数は、いずれの病院類型でも短縮しており、特に療養型病院は前年度比4.1日、精神科病院は前年度比6.7日の短縮となった。
- 患者1人1日当たり入院収益は、いずれの病院類型でも上昇しており、特に一般病院では前年度比1,027円、療養型病院では前年度比1,529円の上昇となった。
- 人件費率は、一般病院は前年度比0.3ポイント上昇、療養型病院は前年度比0.5ポイント低下、精神科病院は0.2ポイント上昇となった。
- 医療材料費率は、一般病院では前年度比0.3ポイント上昇、精神科病院では前年度比0.1ポイント上昇となった。
- 患者規模100人当たり従事者数はいずれの病院類型でも増加しており、従事者1人当たり人件費も上昇となった。
- 一般病院の経常赤字施設割合は、41.3%と前年度比4.7ポイント上昇となった。

以上